

■米国：FERC 委員、ダイナミックプライシングの必要性を強調

ワシントン市内で 2012 年 4 月 24 日に開かれた電力市場に関する会議の中で、連邦エネルギー規制委員会（FERC）のフィリップ・モーラー委員は、卸市場における需給状況を反映し、リアルタイムに変化する小売料金（ダイナミック・プライシング）を提供すべきと主張した。同氏は、電気自動車の普及でピークシフトの必要性が高まるとの見通しを述べ、スマートメーターに代表される技術的な土台ができつつあり、州政府も導入にむけ動き出していると現状を分析。実現に向けたこれらの取組みが継続されることが重要であると説いた。